

ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念事業準備状況（報告と提案）

平成29年10月理事会で検討状況の報告
創立100周年記念事業準備委員会

<報告事項>

1. 委員会編成

委員長 奥島孝康 理事長
委員 水野正人 副理事長、吉田俊仁 常務理事、膳師 功 日本連盟コミッショナー、
磯山友幸 社会連携・広報委員長

2. 委員会開催状況

第1回：平成29年 3月 8日（水）
第2回：平成29年 5月22日（月）
第3回：平成29年 9月 5日（火）
第4回：平成29年10月 3日（火）

3. 検討状況

- (1) 100周年記念年期間：2022年1月1日～12月31日
- (2) 中央式典等の開催日程：2022年4月2日（土）
※スカウトが参加しやすい春休みの間の土曜日とする。
- (3) 各会場案
 - ①パレード集合地：日比谷公園野外音楽堂
 - ②中央式典：日本武道館
・パブリックビューイング形式等で、全国で一緒に祝い共感を得るようにする。
 - ③パレード：銀座中央通り（約2.5km）
・広告塔になる有名人を引き入れ、一般の人を集め、メディアに取り上げてもらう。
 - ④レセプション(帝国ホテル)
- (4) 特別記念事業（より社会とつながる事業）案
 - ①ボーイスカウト版子ども食堂
・今年度後半から来年度にフィージビリティスタディ（実行可能性調査）に取り組む。
 - ②熟年向けシニアスカウト組織の創設
 - ③高萩メモリアルパーク（霊園）の設置
 - ④高萩シニアスカウトロッジ（介護施設）の設置
 - ⑤記念ミュージアムの設置
・目的寄付等で資金を調達して高萩スカウトフィールド等に設置する。
・高額寄付に対する感謝碑設置なども関連して検討に含む。
- (5) 特別募金
 - ・通常の募金と特別募金を社会連携・広報委員会で、募金規模、目的設定など検討しとりまとめ、外部だけでなく、内部（加盟員）への呼びかけも行う。
 - ・スカウトたちも募金（資金造成）に参画できる取り組みを検討する。
 - ・寄付付き商品を日本連盟で用意し、目標額や期間を設定して全国一斉で行う資金造成キャンペーンを検討する。
 - ・寄付付き商品は、「日本のボーイスカウトといえば、これ」と言ったイメージとなるような商品とし、寄付先をボーイスカウトだけでなく、一部をNPOや他団体なども対象するなどで、社会貢献性を高めるように検討する。
- (6) 記念表彰の実施
 - ・記念碑の整備、功労のある故人への追贈、組織内外に広範囲にわたる表彰を行う。

- (7) 全国の大学にローバー隊を設置
- ・全ての大学にRS隊を作ることを目指し、先ずは47都道府県に1つ以上の大学RS隊を設置する。そのための大学ローバー隊の作り方マニュアルなどを整備する。
- (8) 100年記念史の発行
- ・新書版を10万部発行(1,000円以下)し、記念史は、寄贈分は除き1千部発行する。
- (9) 100周年関係委員会の設置
- 来年4月ないし5月に100周年事業特別委員会および小委員会を設置する。
- ・準備委員会は、特別委員会(親委員会)に改組し、都道府県連盟に100周年事業を展開するためのツールや情報提供、記念表彰の設定などの任務も担う。
 - ・記念史編纂委員会(始動済)は、特別委員会のもとの小委員会とする。
 - ・18NSJ準備委員会は傘下とはせずに立ち上げ、特別委員会と連携する。
 - ・加盟員拡大・中途退団抑止事業は常設委員会の任務とする。
 - ・募金は、通常募金と100周年募金は連携が必要なため一括して社会連携・広報委員会が財務委員会と連携しながら取り組む。広報も、社会連携・広報委員会が担う。
 - ・記念式典やキャラバン事業の小委員会を設置する。
 - ・高萩スカウトフィールドの活用や運営を図るための小委員会を設置する。

<提案事項>

1. 100周年記念ワッペン の製作について

記念ワッペン の製作について承認いただきたい。

- ・サイズ:縦横6cm、縁取りはグリーン
- ・着用期間:平成30年1月1日~平成34年12月31日の5年間
- ・記念ワッペンは制服に限定することなく、どこにでも着用することを奨励する。制服への着用の場合は、左胸ポケット上部とし、BVSは右袖上部とし、教育推進会議に提案する。
- ・ロゴを多くの人の目に触れるようにするため、加盟員が自由に使えるようにする。
- ・有償配布とする。
- ・併せてピンバッジ、エンブレムも作製を検討する。



2. 第18回日本スカウトジャンボリー の開催地の再公募について

再公募の実施を承認いただきたい。

9月末の第18回日本スカウトジャンボリー開催地の公募締め切りに応募が0件であった。第17回日本スカウトジャンボリーで次回大会のハンドオーバーを行うためには、来年3月、遅くとも5月理事会で開催地の承認を得る必要があるため、大会の基本理念を整えて、会場条件を変更して再公募を実施することを提案する。

ただし、会場条件は100周年記念準備委員会に一任していただきたい。

以上